

H28教科の細目の見直し提案表

本提案表は、基礎研究会において検討した見直し(基準の細目)案である。改正省令(基準の細目)は、本提案表を踏まえ厚生労働省で審議されるものであるため、本提案表については変更されていることを申し添える。

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築施工系木造建築科					
		学 科			実 技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由		
系基礎 学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎 実技	1 各種測量法により測量ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。		
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限らず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及び OA機器操作ができること。			
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。			
	4 建築 構造とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めるものとした。					
	5 建築設備について知っていること。						
	6 建築製図について知っていること。						
	7 仕様及び積算 について知っていること。	専攻学科の細目として移動					
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。					
	9 測量 について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。					
	10 関係法規について知っていること。						
	11 安全衛生について知っていること。						
専攻 学科	1 各種の仕口、 継ぎ手 及び造作についてよく知っていること。	現在、「継ぎ手」の表現が多いため、 継ぎ手 を継手に変更	専攻 実技	1 木材加工用器工具の取扱いがよくできること。	木材加工用器工具の取扱いを「木工機械、電動工具」の取扱いに係る細目と合わせてひとくくりの表現に変更し、木材加工用器工具単独の細目は削除した。		
	2 断熱及び 気密 、防腐 及び 、防音について知っていること。	断熱と気密でセットした表現であることから文章を一部変更した。		2 木工機械、 携帯用 電動工具、 及び 手工具の取扱いがよくできること。	教科名「器工具使用法」及びその細目「木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、木材加工用器工具の使用法」の表現に合わせた が 手工具は木材加工に限定しない表現に変更した。		
	3 建築用材料について知っていること。			3 仕口及び継ぎ手の工作各種部材の加工 ができること。	建築物の施工において、仕口・継ぎ手だけでなく、材の加工も重要な要素であるため、仕口・継ぎ手を含む その他の部材加工 を行う表現とした。		
	4 規く術について知っていること。			4 木造建築物の製作ができること。			
	5 木質構造 についてよく知っていること。	教科名「木質構造」及びその教科の細目から新規に設定。		5 各種造作及び仕上げができること。			
	6 構造材及び造作材の加工 について知っていること。	教科名「工作法」及びその教科の細目「構造材の墨付け及び切組、造作材の木こしらえ及び取付け」から新規に設定。		6 木造軸組及び木造小屋組ができること。			
	7 仕様及び積算 について知っていること。	教科名「仕様及び積算」に合わせて新規に設定。 系基礎学科より移行					

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築施工系枠組壁建築科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎実技	1 各種測量法により測量ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限せず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及び OA機器操作ができること。	
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。	
	4 建築構造 とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めるものとした。			
	5 建築設備について知っていること。				
	6 建築製図について知っていること。				
	7 仕様及び積算 について知っていること。	専攻学科の細目として移動			
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。			
	9 測量 について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。			
	10 関係法規について知っていること。				
	11 安全衛生について知っていること。				
専攻学科	1 躯体(く)の構成についてよく知っていること。	躯体(く)はJIS第2水準であることから読み仮名は削除した。	専攻実技	1 木工機械、電動工具及び手工具 の取扱いがよくできること。	器具だけでなく木工用機械、携帯電動工具等を含めた取扱いに係る細目としての表現に変更した。木道建築科の表現に統一。 上記の器具の取扱いの細目に木工用機械、携帯用電動工具も含めるため削除した。 教科名「部材加工実習」及びその細目に合わせて解りやすい表現にて加工に係る細目を新設した。
	2 工法の特性についてよく知っていること。			2 木工用機械、携帯用電動工具 の取扱いができること。	
	3 施工法についてよく知っていること。			3 各部材の組立てがよくできること。	
	4 建築用材料についてよく知っていること。			4 枠組壁建築物の製作がよくできること。	
	5 規く術について知っていること。			5 木工機械及び電動工具、手工具による加工 がよくできること。	
	6 仕様及び積算 について知っていること。	教科名「仕様及び積算」に合わせて新規に設定。 系基礎学科より移行			

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築施工系とび科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎実技	1 各種測量法により測量ができること。	
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限定せず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及びOA機器操作 ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。	
	4 建築 構造とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めものとした。			
	5 建築設備について知っていること。				
	6 建築製図について知っていること。				
	7 仕様及び積算について知っていること。	専攻学科の細目として移動			
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。			
	9 測量について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。			
	10 関係法規について知っていること。				
	11 安全衛生について知っていること。				
専攻学科	1 材料及び器具、工用機械の種類及び取扱い について知っていること。	教科名「材料及び器具」及びその細目「及び工用器具、仮設材、木質系材料、金属系材料、コンクリート系材料、その他の材料」に合わせて、材料を付加し器具と合わせた表現に変更した。	専攻実技	1 やりかた、型枠製作ができること。	
	2 仮設の建築物及び設備について知っていること。			2 木造軸組み、鉄骨軸組み鉄骨軸組の建方、木造軸組の建方、PC板の取付け がよくできること。	鉄骨造が主体であるので、前に表記し、木造軸組を含めて建方、解体に関してまとめ、細目として再構築した。 ・とび職は「足場蓋」、「鉄骨蓋」、「重量蓋」に大きく分かれるが、鉄骨を主とした足場を中心に扱う現場である。また、対応する教科も「鉄骨工事実習」ということもあり主体は鉄骨である。
	3 仮設物の組立て、解体について知っていること。			3 木造、鉄骨軸組み施工鉄骨造と木造の建物の解体 がよくできること。	鉄骨造が主体であるので、前に表記し木造軸組と合わせて、解体工事の必要性が増加したことから、建方と区分して細目を再構築した。
	4 建設工用の機械及び設備の組立て及び解体の方法工用機械と設備の種類及び取扱い について知っていること。	教科名「とび施工法」に対応し工用機械と設備の取扱いに変更した。		4 鉄骨の組立及びPC板の取付け がよくできること。	鉄骨工事実習に関する細目では上記の2つに集約し、細目を設定し直しを行った。
	5 建設工事の施工法について知っていること。			5 玉掛け、揚重及び運搬ができること。	
	6 建設工事の現場における重量物の運搬方法 について知っていること。	建設工事現場と限定せず、他の細目同様作業・業務についての記載に変更した。		6 仮設物及び足場の組立て 及び 解体ができること。	文章の接続「及び」、「並びに」の統合化
	7 とび工事の施工図について知っていること。			7 工用器具の取扱いができること。	
	8 とび工事に使用する材料の種類、性質及び用途 について知っていること。	上記の「材料及び器具の…」の細目に包含し、この細目は削除することとした。		8 仮設の建築物及び設備の組立て 並びに 解体がよくできること。	文章の接続「及び」、「並びに」の統合化
	9 建築物の 軸部の組立ての方法各種構造の建方 についてよく知っていること。	教科の細目の表現「木工事(建方)、鉄骨工事(建方・接合等)、コンクリート工事、建物解体工事」に合わせて修正した。		9 命綱の使用ができること。	
	10 力学 について知っていること。	系基礎学科「構造力学概論」の内容に合致するものとして、削除した。		10 掘削工事 ができること。	教科名「土木工事実習」の主たる工事実習である「掘削工事」に係る細目を新規に設定した。
	11 墨出しについて知っていること。				
	12 仕様及び積算 について知っていること。	教科名「仕様及び積算」に合わせて新規に設定。 系基礎学科より移行			

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築施工系鉄筋コンクリート施工科				
学 科		実 技				
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由	
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎実技	1 各種測量法により測量ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。	
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限定せず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及びOA 機器操作ができること。		
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。		
	4 建築構造 とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めものとした。				
	5 建築設備について知っていること。					
	6 建築製図について知っていること。					
	7 仕様及び積算について知っていること。	専攻学科の細目として移動				
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。				
	9 測量について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。				
	10 関係法規について知っていること。					
	11 安全衛生について知っていること。					
専攻学科	1 鉄筋 及び型枠 の加工 及び 組立てについてよく知っていること。	教科名「鉄筋コンクリート施工法」において型枠工事についても含める必要があるため、変更した。	専攻実技	1 墨出しがよくできること。	細目「鉄筋の加工及び組立ができること。」と重複するため削除した。	
	2 鉄筋の拾い出しについてよく知っていること。			2 器具の取扱いができること。		
	3 コンクリート品質、打設及び養生についてよく知っていること。			3 鉄筋の組立てができること。		
	4 木工用及び鉄筋加工用機械並びに器具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。	専攻学科に係る細目としては関係する教科と合致しないため削除した。この内容に対しては、専攻実技の「鉄筋工事実習」に新たに追加することとする。		4 ガス溶接、アーク溶接ができること。		
	5 建設用材料の 種類、性質及び用途 についてよく知っていること。	建築材料の種類、性質から用途までを具体的に問わない記載方法に変更した。		5 建築物構造 （ く ）体の施工ができること。		建築物躯体ではなく、「構造躯体」が一般的な表現であるため、表現を変更した。なお、躯体（く）はJIS第二水準であることから読み仮名は削除。
	6 施工図についてよく知っていること。			6 鉄筋の加工及び組立てができること。		
	7 建築施工計画 についてよく知っていること。	教科名「建築施工計画」に合わせて新規に細目を設定した。 ・鉄筋コンクリート施工においては、鉄筋の納入から鉄筋接続検査、コンクリートの配合計画、圧送・打設の打込み計画等々外部業者による工事を要するため予め計画を作成する必要がある。 ・コンクリート圧送施工技能検定2級の細目において、学科試験の施工法「コンクリート圧送工事の施工計画」ではコンクリート圧送工事の施工計画に関して、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。」として、 ・圧送に必要なコンクリート工事の条件、 ・圧送負荷の算定式の意味、 ・輸送管の径の決定方法、…となっており、技能検定の細目の概略的な知識は「知っている」、一般的な知識、詳細な知識については「よく知っている」と表現。		7 コンクリート打設ができること。		
	8 仮設工事 について知っていること。	教科名「仮設工事」に合わせて新規に細目を設定した		8 PC部材の製作ができること。		
	9 仕様及び積算 について知っていること。	教科名「仕様及び積算」に合わせて新規に設定。 系基礎学科より移行		9 型枠の組立て・解体 ができること。		教科名「型枠工事実習」及びその教科の細目「型枠組立て・解体」に合わせて新規に細目を設定した。
		10 仮設物の組立て・解体 ができること。	教科名「仮設工事実習」における細目「仮設物の組立て・解体」に合わせて新規に細目を設定した。			

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築施工系プレハブ建築科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎 学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎 実技	1 各種測量法により測量ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限定せず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及び OA機器操作ができること。	
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。	
	4 建築構造 とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めるものとした。			
	5 建築設備について知っていること。				
	6 建築製図について知っていること。				
	7 仕様及び積算 について知っていること。	専攻学科の細目として移動			
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。			
	9 測量 について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。			
	10 関係法規について知っていること。				
	11 安全衛生について知っていること。				
専攻 学科	1 木質系、鉄鋼系及びコンクリート系 プレハブ建築物 の特性、構造、組立て法及び造作についてよく知っていること。	材質だけでなく対象物であるプレハブ建築物を明確に記載した。	専攻 実技	1 木質系 プレハブ建築物 の組立てがよくできること。	専攻学科「プレハブ建築施工法」での細目表現「木質系・鉄鋼系・コンクリート系建築物」に合わせた表現に変更した。
	2 建築用材料について知っていること。			2 鉄骨鋼系プレハブ建築物 の組立てがよくできること。	専攻学科「プレハブ建築施工法」での細目表現「木質系・鉄鋼系・コンクリート系建築物」に合わせた表現に変更した。
	3 各種プレハブ建築物の施工法 について知っていること。	教科名「プレハブ建築施工法」に合わせて新規に細目を設定とした。		3 鉄筋コンクリート系プレハブ建築物 の組立てがよくできること。	専攻学科「プレハブ建築施工法」での細目表現「木質系・鉄鋼系・コンクリート系建築物」に合わせた表現に変更した。
	4 仕様及び積算 について知っていること。	教科名「仕様及び積算」に合わせて新規に設定。系基礎学科より移行		4 読図ができること。	
				5 プレハブ建築用各種機械、携帯用電動工具の取扱いができること。	
				6 プレハブ建築物の製作がよくできること。	
				7 プレハブ建築用機械及び手工具 による 部材加工 ができること。	教科名「部材加工実習」及びその細目「プレハブ建築用機械及び手工具による加工法」に対応した細目を新規に設定した。

技能照査の細目（建築施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

b>

訓練科		建築施工系建築設計科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。		系基礎実技	1 各種測量法により測量ができること。	教科名「機械操作基本実習」及び同細目の内容と合わせて、理解しやすい表現とした。
	2 建築 工程生産 について知っていること。	建築工程に限定せず、生産の範囲を広げるため、建築生産に変更した。		2 機械使用法、CAD操作及び OA機器操作ができること。	
	3 建築計画について知っていること。			3 安全衛生作業がよくできること。	
	4 建築構造 とその特性 について知っていること。	教科の細目の表記と合わせて建築構造の理解を求めるものとした。			
	5 建築設備について知っていること。				
	6 建築製図について知っていること。				
	7 仕様及び積算 について知っていること。	専攻学科の細目として移動			
	8 構造力学の 基礎 について知っていること。	構造力学概論であることからその基礎としていたが、構造力学全般と捕らえて基礎を削除した。			
	9 測量 について知っていること。	系基礎学科の測量に合わせて、測量全般への理解という意味を持たせるため細目を追加した。			
	10 関係法規について知っていること。				
	11 安全衛生について知っていること。				
専攻学科	1 意匠、構造、設備計画について知っていること。		専攻実技	1 各種建築図面のトレースがよくできること。	
	2 構造力学についてよく知っていること。			2 建築物のデザインができること。	
	3 建築図面等の各種表現方法について知っていること。			3 各種建築図面の設計、製図がよくできること。	
	4 各種の建築 構造、材料 についてよく知っていること。	建築構法を教科名である建築構造に変更し、プレハブ建築は建築材によって構造が異なるため材料を追記した。		4	
	5 各種建築工程の詳細計画の進め方 について知っていること。	教科名「建築計画」及びその細目「建築計画の進め方、建築環境調整」に合わせた表現に変更した。		5	
	6 各種建築工事 について知っていること。	教科名「建築施工法」に合わせて新規に細目を設定とした。			
	7 仕様及び積算 について知っていること。	系基礎学科からの移行と合わせて新規に設定。			

技能照査の細目（土木系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		土木系さく井科			
学 科			実 技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 土木工学の内容、国土の開発、水工、道路・構造、都市と環境について知っていること。 2 測量について知っていること。 3 土質の構造、性質、及び力学、水理学について知っていること。 4 土木製図について知っていること。 5 建設工事における生産の過程、施工管理について知っていること。 6 安全衛生についてよく知っていること。	土質自体に構造・性質は含まれているためその部分を削除し、教科の細目にある水理学を追加した。	系基礎実技	1 各種測量法による測量ができること。 2 安全衛生作業がよくできること。	
専攻学科	細目は定められていません		専攻実技	細目は定められていません	

技能照査の細目（土木系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		土木系土木施工科			
		学 科		実 技	
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 土木工学の内容、国土の開発、水工、道路・構造、都市と環境について知っていること。	土質自体に構造・性質は含まれているためその部分を削除し、教科の細目にある水理学を追加した。	系基礎実技	1 各種測量法による測量ができること。	
	2 測量について知っていること。			2 安全衛生作業がよくできること。	
	3 土質の構造、 性質 及び力学、 水理学 について知っていること。				
	4 土製図について知っていること。				
	5 建設工事における生産の過程、施工管理について知っていること。				
	6 安全衛生についてよく知っていること。				
専攻学科	1 土木施工法についてよく知っていること。		専攻実技	1 土木施工用機械の取扱いがよくできること。	教科名「測量実習」新規に細目を設定した。
	2 土木機械の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。			2 土木施工作業の段取りがよくできること。	
	3 土木材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。			3 土木施工作業ができること。	
	4 関係法規について知っていること。			4 読図ができること。	
	5 材料試験について知っていること。			5 測量ができること。	
	6 土木設計図及び土木施工図について知っていること。				

技能照査の細目（土木系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		土木系測量・設計科			
学 科			実 技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 土木工学の内容、国土の開発、水工、道路・構造、都市と環境について知っていること。 2 測量について知っていること。 3 土質の構造、性質、及び力学、水理学について知っていること。 4 土木製図について知っていること。 5 建設工事における生産の過程、施工管理について知っていること。 6 安全衛生についてよく知っていること。	土質自体に構造・性質は含まれているためその部分を削除し、教科の細目にある水理学を追加した。	系基礎実技	1 各種測量法による測量ができること。 2 安全衛生作業がよくできること。	
専攻学科	1 測量用器械機器及び器工具の種類及び使用方法についてよく知っていること。 2 基準点測量における三角測量方式、多角測量方式及び水準測量についてよく知っていること。 3 地形測量における平板現地測量、写真測量及び地図編集について知っていること。 4 応用測量についてよく知っていること。 5 誤差の取扱い及び精度について知っていること。 6 土木設計図についてよく知っていること。 7 空中写真の判読、実体視及び図化について知っていること。	測量機械、測量用器械を一般的な表現とし、器械及び器工具をまとめて機器とした。 「地形測量」の定義では平板測量と写真測量とにより平面図を作成することであるが、作業規程の改定により、現在は「地形測量」という編立てから「地形測量と写真測量」という編立てになり、「平板測量」であった章立てが「現地測量」に変更されたことから、「現地測量」に変更した。	専攻実技	1 測量用器械機器及び器工具の取扱いがよくできること。 2 踏査及び選点がよくできること。 3 距離、角度及び高低差の測定がよくできること。 4 測定手簿及び観測手簿の作成がよくできること。 5 測量結果の補正及び精度の計算がよくできること。 6 計算表及び実測図の作成ができること。 7 応用測量ができること。 8 土木設計図の作成ができること。	測量機械、測量用器械を一般的な表現とし、器械及び器工具をまとめて機器とした。

技能照査の細目（建築外装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築外装系屋根施工科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築計画について知っていること。 2 建築構造について知っていること。 3 建築設備について知っていること。 4 製図について知っていること。 5 関係法規について知っていること。 6 安全衛生についてよく知っていること。 7 建築物の歴史、役割について知っていること。 8 建築工程について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 各種方式による測定ができること。 2 建築外装用機械の操作ができること。 3 足場施工ができること。 4 安全衛生作業がよくできること。	
専攻学科	1 材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。 2 屋根ふき用器具の種類及び使用法についてよく知っていること。 3 割付けについて知っていること。 4 屋根下地及び下ごしらえについて知っていること。 5 屋根ふきの施工法についてよく知っていること。 6 屋根ふき用補助材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。 7 仕様及び積算について知っていること。		専攻実技	1 屋根ふき用器具の取扱いがよくできること。 2 屋根施工の段取りができること。 3 屋根下地及び下ごしらえ作業ができること。 4 割付け及び水系張りができること。 5 屋根施工がよくできること。 6 養生作業ができること。	

技能照査の細目（建築外装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築外装系スレート施工科				
学 科			実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由	
系 基 礎 学 科	1 建築計画について知っていること。		系 基 礎 実 技	1 各種方式による測定ができること。		
	2 建築構造について知っていること。			2 建築外装用機械の操作ができること。		
	3 建築設備について知っていること。			3 足場施工ができること。		
	4 製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよくできること。		
	5 関係法規について知っていること。					
	6 安全衛生についてよく知っていること。					
	7 建築物の歴史、役割について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。				
	8 建築工程について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。				
専 攻 学 科	1		専 攻 実 技	1		
	2			2		
	3			3		
	4			4		

技能照査の細目（建築外装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築外装系建築板金科			
学 科		実 技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築計画について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 各種方式による測定ができること。	
	2 建築構造について知っていること。			2 建築外装用機械の操作ができること。	
	3 建築設備について知っていること。			3 足場施工ができること。	
	4 製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 関係法規について知っていること。				
	6 安全衛生についてよく知っていること。				
	7 建築物の歴史、役割について知っていること。				
	8 建築工程について知っていること。				
専攻学科	1 材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。		専攻実技	1 板金用機械及び器具の取扱いがよくなること。	
	2 板金用機械及び器具の種類、構造及び使用方法についてよく知っていること。			2 板金の加工がよくなること。	
	3 展開図によるけがき及び板取りについて知っていること。			3 板金施工の段取りができること。	
	4 板金の加工についてよく知っていること。			4 板金施工がよくなること。	
	5 板金の施工法についてよく知っていること。			5 養生作業ができること。	
	6 仕様及び積算についてよく知っていること。				

技能照査の細目（建築外装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築外装系防水施工科			
学 科			実 技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築計画について知っていること。 2 建築構造について知っていること。 3 建築設備について知っていること。 4 製図について知っていること。 5 関係法規について知っていること。 6 安全衛生についてよく知っていること。 7 建築物の歴史、役割について知っていること。 8 建築工程について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 各種方式による測定ができること。 2 建築外装用機械の操作ができること。 3 足場施工ができること。 4 安全衛生作業がよくできること。	
専攻学科	1 防水施工用機械及び器具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。 2 防水下地についてよく知っていること。 3 防水工事における養生についてよく知っていること。 4 防水工事の種類及び特徴について知っていること。 5 防水工事の施工法について知っていること。 6 防水材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。 7 墨出しについてよく知っていること。 8 仕様及び積算について知っていること。		専攻実技	1 防水施工用器具及び機械の取扱いができること。 2 防水工事の作業段取りができること。 3 下地工作ができること。 4 墨出しができること。 5 防水作業がよくできること。 6 養生作業ができること。	

技能照査の細目（建築外装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築外装系サッシ・ガラス施工科				
学 科		実 技				
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由	
系基礎 学科	1 建築計画について知っていること。		系基礎 実技	1 各種方式による測定ができること。		
	2 建築構造について知っていること。			2 建築外装用機械の操作ができること。		
	3 建築設備について知っていること。			3 足場施工ができること。		
	4 製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。		
	5 関係法規について知っていること。					
	6 安全衛生についてよく知っていること。					
	7 建築物の歴史、役割 について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。				
	8 建築工程 について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。				
専 攻 学 科	1 サッシ 及びガラス 工事の施工法についてよく知っていること。	技能照査の基準の対象をより明確とするために、技能照査が修了試験であることとその合格メリットである技能士補に係る技能検定職種との兼ね合いを含めて「サッシ工事(サッシ施工)」と「ガラス工事(ガラス施工)」に分けて、それぞれ個別に設定することとした。	専 攻 実 技	1 サッシ及びガラス施工用機械並びに器具の取扱いがよくなること。		
	2 金属製建具及びカーテンウォール工事の施工法についてよく知っていること。			2 サッシの加工及び組立てができること。		
	3 サッシ 及びガラス 施工用機械並びに器具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、サッシ工事とガラス工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		3 金属製建具及び部品(付属部材及び付属金物)の取付けがよくなること。		
	4 サッシ及びガラス材料の種類、性質並びに用途についてよく知っていること。			4 木製建具、スチールサッシ及びアルミサッシのはめ込み寸法の測定がよくなること。		
	5 ガラス切断の原理について知っていること。			5 木製建具、スチールサッシ及びアルミサッシの取付け支持並びにシーリングができること。		
	6 開口部の開閉作動方式についてよく知っていること。			6 板ガラスの板どりができること。		
	7 各種建具の主なガラス取付け支持方式についてよく知っていること。			7 ガラスの切断がよくなること。		
	8 電気アーク溶接及びガス溶接 について知っていること。	ヒアリングの結果、サッシ施工に用いる溶接法はアーク溶接が主で、ガス溶接は現状用いられていないことからアーク溶接とした。		8 墨出しができること。		
	9 仕様及び積算について知っていること。			9 アーク溶接 ができること。	ヒアリングの結果、サッシ施工に用いる溶接法はアーク溶接が主で、ガス溶接は現状用いられていないことからアーク溶接とした。	
	10 ガラス工事の施工法 についてよく知っていること	対象をより明確とするために、サッシ工事とガラス工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		10 玉掛け及び合図がよくなること。		
	11 ガラス施工用機械並びに器具の種類、構造及び使用法 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、サッシ工事とガラス工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		11 養生作業ができること。		

技能照査の細目（建築内装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築内装系量科			
		学科	実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系 基 礎 学 科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系 基 礎 実 技	1 家具、建具、照明器具の はめ込みの測定設置に必要な測定 ができること。	「はめ込みの測定」では作業内容が不明確であるので、「設置に必要な測定」に変更することとした。
	2 生活機能を基礎とした色彩構成について知っていること。			2 建築内装用機械の取扱い及び調整ができること。	
	3 形、光、空間の構成等の造形について知っていること。			3 建築、家具の製図の作成ができること。	
	4 室内設計、家具デザイン等の基礎及び表現方法について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 建築工程について知っていること。				
	6 室内工事の施工及び設備についてよく知っていること。				
	7 建築構造について知っていること。				
	8 建築、家具の製図について知っていること。				
	9 関係法規について知っていること。				
	10 安全衛生について知っていること。				
専 攻 学 科	1 材料の取扱いと作業準備についてよく知っていること。 新量の工作法について知っていること。		専 攻 実 技	1 各種量工作用機械の取扱いがよくなること。	教科名「器具使用法」における教科の細目「汎用木工機械、量工作用機械」に対する細目を新たに設定した。
	2 量表替えと裏返し工作法についてよく知っていること。			2 適寸割り出しができること。	
	3 適寸割り出し法について知っていること。			3 新量の製作作業がよくなること。	
	4 量の敷き方と敷き込みについて知っていること。			4 量の表替えと裏返しができること。	
	5 製量機及び縫着機の種類、構造及び使用法について知っていること。			5 量床及び量表の修理ができること。	
	6 量製作用器具の種類および使用法についてよく知っていること。			6 量の敷き込み作業ができること。	
	7 仕様及び積算について知っていること。				

技能照査の細目（建築内装系）

※青字は修正。赤字は追加。

b>

訓練科		建築内装系インテリア・サービス科			
学科		実技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 家具、建具、照明器具の はめ込みの測定設置に必要な測定 ができること。	「はめ込みの測定」では作業内容が不明確であるので、「設置に必要な測定」に変更することとした。
	2 生活機能を基礎とした色彩構成について知っていること。			2 建築内装用機械の取扱い及び調整ができること。	
	3 形、光、空間の構成等の造形について知っていること。			3 建築、家具の製図の作成ができること。	
	4 室内設計、家具デザイン等の基礎及び表現方法について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 建築工程について知っていること。				
	6 室内工事の施工及び設備についてよく知っていること。				
	7 建築構造について知っていること。				
	8 建築、家具の製図について知っていること。				
	9 関係法規について知っていること。				
	10 安全衛生について知っていること。				
専攻学科	1 インテリアの計画の方法についてよく知っていること。		専攻実技	1 インテリア製図がよくなること。	
	2 インテリア材料及び種類についてよく知っていること。			2 木工機械、金工用電動工具、インテリア加工用器具の取扱い及び調整がよくなること。	
	3 インテリア施工法について知っていること。			3 床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ等のインテリア施工がよくなること。	
	4 仕様及び積算について知っていること。				

技能照査の細目（建築内装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築内装系床仕上施工科			
		学科	実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。 2 生活機能を基礎とした色彩構成について知っていること。 3 形、光、空間の構成等の造形について知っていること。 4 室内設計、家具デザイン等の基礎及び表現方法について知っていること。 5 建築工程について知っていること。 6 室内工事の施工及び設備についてよく知っていること。 7 建築構造について知っていること。 8 建築、家具の製図について知っていること。 9 関係法規について知っていること。 10 安全衛生について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 家具、建具、照明器具の はめ込みの測定設置に必要な測定 ができること。 2 建築内装用機械の取扱い及び調整ができること。 3 建築、家具の製図の作成ができること。 4 安全衛生作業がよくできること。	「はめ込みの測定」では作業内容が不明確であるので、「設置に必要な測定」に変更することとした。
専攻学科	1 2 3 4		専攻実技	1 2 3 4	

技能照査の細目（建築内装系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築内装系表具科			
学科		実技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築物の歴史、役割について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」に対する細目を新規に設定した。	系基礎実技	1 家具、建具、照明器具の はめ込みの測定設置に必要な測定 ができること。	「はめ込みの測定」では作業内容が不明確であるので、「設置に必要な測定」に変更することとした。
	2 生活機能を基礎とした色彩構成について知っていること。			2 建築内装用機械の取扱い及び調整ができること。	
	3 形、光、空間の構成等の造形について知っていること。			3 建築、家具の製図の作成ができること。	
	4 室内設計、家具デザイン等の基礎及び表現方法について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 建築工程について知っていること。				
	6 室内工事の施工及び設備についてよく知っていること。				
	7 建築構造について知っていること。				
	8 建築、家具の製図について知っていること。				
	9 関係法規について知っていること。				
	10 安全衛生について知っていること。				
専攻学科	1 ふすま、掛軸、屏風についてよく知っていること。 表具美術の代表作について知っていること。	教科名「表装概論」及び教科の細目「表具の沿革、目的及び効用、表具と建築物との関連」に対応した細目を新たに設定した。表装技能検定2級における学科細目「表具品の種類、構造及び特徴」により、詳細な知識を有することにより、「よく知っていること」と判断し設定した。 教科名「美術工芸史」及び教科の細目「表具美術の沿革、関連美術、工芸史」に対応した細目を新たに設定した。表装技能検定の細目にも表具美術等の記載が無いので概略的な知識として「知っていること」と判断した。	専攻実技	1 表装用器具の取扱い がよくなること。 寸法取り作業がよくなること。	教科名「器具使用法」及び教科の細目「表装用器具使用法」に対応した細目を新たに設定した。表装技能検定2級の細目で、表装作業に使用する器具の種類及び用途について詳細な知識を有することと実技細目で裏打ち、切継ぎ、下張り、上張りができることから「よくなる」と判断した。
	表具品の種類、構造及び規格についてよく知っていること。			寸法の割り出し及び割り付けがよくなること。	
	2 表具材料の種類、性質及び用途について知っていること。			2 表具材料の選定ができること。	
	3 壁装材料の種類、性質及び用途について知っていること。			3 表具の仕口及び仕上げができること。	
	4 寸法取りについてよく知っていること。			4 表具品の 補修修復 ができること。	
	5 寸法の割り出し及び割り付けについてよく知っていること。			5 開口部寸法に合わせて、ふすまの仕上げ ができること。	
	6 表具における仕口及び仕上がりについてよく知っていること。			6 壁装材料の選定ができること。	
	7 表装用器具の種類及び使用法についてよく知っていること。			7 壁装の下地調整ができること。	
	10 仕様及び積算について知っていること。			10 壁装の施工ができること。	

技能照査の細目（建築仕上系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築仕上系左官・タイル施工科				
学科		実技				
系・専	目内容	修正等理由	系・専	目内容	修正等理由	
系基礎学科	1 建築 生産工程 について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」から細目の内容について他系(建築施工系)を参考に修正した。	系基礎実技	1 建築仕上用各種機械及び器工具の取扱いができること。		
	2 建築構造について知っていること。			2 材料の調合及び練り混ぜができること。		
	3 建築設備について知っていること。			3 足場作業ができること。		
	4 建築製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよいこと。		
	5 関係法規について知っていること。					
	6 安全衛生についてよく知っていること。					
	7 建築物の歴史、役割 について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。				
	8 建築仕上の各種施工法 について知っていること。	教科名「建築仕上法」における教科の細目「コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法」に対応する細目を新たに設定した。				
専攻学科	1 意匠図案及び彫刻 について知っていること。	教科名「造型」及び教科の細目「意匠図案、彫刻」に対応した細目を新たに設定した。	系基礎実技	1 測定及び墨出しができること。		
	2 左官材料及びタイル工用材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。	技能照査の基準をより明確とするために、技能照査が修了試験であることとその合格メリットである技能士補に係る技能検定職種との兼ね合いを含めて左官工事(左官作業)とタイル工事(タイル張り作業)に分けて、それぞれ個別に設定することとした。		2 下地作業ができること。		
	3 左官材料及びタイル工用材料の選定、調合及び混練についてよく知っていること。			3 左官材料及びタイル工用材料の調合及び混練がよいこと。		
	4 測定及び墨出しについてよく知っていること。			4 塗作作業がよいこと。		
	5 左官 及びタイル 工用機械及び器工具の種類及び使用法についてよく知っていること。			5 左官 及びタイル 工用機械及び器工具の取扱いがよいこと。		
	6 左官 工事及びタイル工事 の施工法についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		6 左官 及びタイル 工事の作業段取りができること。		対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。
	7 左官下地 及びタイル下地 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		7 左官 工事及びタイル工事 の仕上げができること。		対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。
	8 左官 工事及びタイル工事 における不具合及び対策について知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		8 タイルの選別ができること。		
	9 左官 工事及びタイル工事 における養生についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとした。		9 目地割りがよいこと。		
	10 タイル工用機械及び器工具の種類及び使用法 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。		10 タイルごしらえがよいこと。		
	11 タイル工事の施工法 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。		11 タイル張りがよいこと。		
	12 タイル下地 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。		12 タイル工用機械及び器工具の取扱い がよいこと。		対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。
	13 タイル工事における不具合及び対策 について知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。		13 タイル工事の作業段取り ができること。		対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。
	14 タイル工事における養生 についてよく知っていること。	対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。		14 タイル工事の仕上げ ができること。		対象をより明確とするために、左官工事とタイル工事を分けて、それぞれ個別に設定することとし、タイル工事区分を設定した。
	15 仕様及び積算について知っていること。			15 養生作業 ができること。		教科名「養生」及び教科の細目「養生材料の取扱い、養生」に対応した細目を新たに設定した。

技能照査の細目（建築仕上系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築仕上系築炉科			
系・専		学科	実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系 基 礎 学 科	1 建築 生産工程 について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」から細目の内容について他系(建築施工系)の同一教科を参考に修正した。	系 基 礎 実 技	1 建築仕上用各種機械及び器工具の取扱いがよくなること。	
	2 建築構造について知っていること。			2 材料の調査及び練り混ぜができること。	
	3 建築設備について知っていること。			3 足場作業ができること。	
	4 建築製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 関係法規について知っていること。				
	6 安全衛生についてよく知っていること。				
	7 建築物の歴史、役割 について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。			
	8 建築仕上の各種施工法 について知っていること。	教科名「建築仕上法」における教科の細目「コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法」に対応する細目を新たに設定した。			
専 攻 学 科	1 工業用炉の種類、構造及び用途について知っていること。		専 攻 実 技	1 れんがの選別ができること。	教科名「不定形耐火物施工実習」及び教科の細目「機械及び器工具の取扱い、キャスト耐火物の施工、プラスチック耐火物の施工、ラミング耐火物の施工、ガン耐火物の施工」に対応する細目を新たに設定した。
	2 築炉作業に使用する機械及び器工具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。			2 水盛り、やりかた、墨出し及びれんがの割付けができること。	
	3 築炉作業に使用する仮設の設備について知っていること。			3 モルタル及びキャスト耐火物の調査及び練り混ぜができること。	
	4 築炉作業の段取り及び作業方法についてよく知っていること。			4 れんがの加工及び組積ができること。	
	5 炉体に生ずる損傷の原因及び修理方法について知っていること。			5 目地押し及び目地仕上げができること。	
	6 れんが及び築炉用材料について知っていること。			6 不定形耐火物の施工 ができる。	
	7 セメント、モルタル及びコンクリートについて知っていること。				
	8 燃料及び燃焼について知っていること。				

技能照査の細目（建築仕上系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築仕上系ブロック施工科			
学科		実技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 建築 生産工程 について知っていること。 2 建築構造について知っていること。 3 建築設備について知っていること。 4 建築製図について知っていること。 5 関係法規について知っていること。 6 安全衛生についてよく知っていること。 7 建築物の歴史、役割 について知っていること。 8 建築仕上の各種施工法 について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」から細目の内容について他系(建築施工系)の同一教科を参考に修正した。 教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。 教科名「建築仕上法」における教科の細目「コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法」に対応する細目を新たに設定した。	系基礎実技	1 建築仕上用各種機械及び器工具の取扱いがよいこと。 2 材料の調合及び練り混ぜができること。 3 足場作業ができること。 4 安全衛生作業がよいこと。	
専攻学科	1 ブロック構造についてよく知っていること。 2 ブロック工事の施工法についてよく知っていること。 3 ブロック工専用機械及び器工具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。 4 ブロック工事の施工計画について知っていること。 5 ブロック工事に使用する材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。 6 測量について知っていること。 7 仕様及び積算について知っていること。		専攻実技	1 土工事、基礎工事、型枠工事 ができること。 2 ブロック工専用機械及び器工具の取扱いがよいこと。 3 コンクリートブロックの加工がよいこと。 4 鉄筋の加工がよいこと。 5 ブロックの補強、組積工事がよいこと。 6 コンクリートの調合、ミキシング、打設 がよいこと。 7 水盛り、やりかた及び墨出しがよいこと。 8 養生ができること。	教科名「地下施工実習」に対応する細目を新たに設定した。 教科名「コンクリート施工実習」及びその細目「調合、ミキシング、打設」に合わせた細目を新たに

技能照査の細目（建築仕上系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		建築仕上系熱絶縁施工科			
学科			実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系 基 礎 学 科	1 建築生産工程について知っていること。	教科名「建築生産概論」における教科の細目「工程管理、資材管理、生産管理」から細目の内容について他系(建築施工系)の同一教科を参考に修正した。	系 基 礎 実 技	1 建築仕上用各種機械及び器工具の取扱いができること。	
	2 建築構造について知っていること。			2 材料の調合及び練り混ぜができること。	
	3 建築設備について知っていること。			3 足場作業ができること。	
	4 建築製図について知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 関係法規について知っていること。				
	6 安全衛生についてよく知っていること。				
	7 建築物の歴史、役割について知っていること。	教科名「建築概論」における教科の細目「建築の概要、建築物の種類、建築史」に対する細目を新規に設定した。			
	8 建築仕上の各種施工法について知っていること。	教科名「建築仕上法」における教科の細目「コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法」に対応する細目を新たに設定した。			
専 攻 学 科	1		専 攻 実 技		
	2				
	3				
	4				

技能照査の細目（設備施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		設備施工系冷凍空調設備科				
学科			実技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由	
系 基 礎 学 科	1 機械工学について知っていること。	関係技能検定試験の範囲の細目において、この細目相当では「概略の知識を有する」となっていることから、知っていることに変更した。	系 基 礎 実 技	1 機器及び工具の取扱いがよくなること。	用語の修正	
	2 電気工学について知っていること。			2 配管及び機器類の取り付けができること。		
	3 生産工学について知っていること。			3 ガス溶接、アーク溶接及びろう付けができること。		
	4 建築設備及び機器についてよく知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。		
	5 ガス溶接及び電気溶接について知っていること。					
	6 建築構造についてよく知っていること。					
	7 環境工学について知っていること。					
	8 建築製図について知っていること。					
	9 仕様及び積算について知っていること。					
	10 安全衛生についてよく知っていること。					
専 攻 学 科	1 冷凍理論及び空気調和理論について知っていること。	関係技能検定試験の範囲の細目において、この細目相当では「詳細な知識を有する」となっていることから、よく知っていることに変更した。	専 攻 実 技	1 整備用機械の取扱いがよくなること。	機械及び器工具の取扱いとしてまとめられた細目があるので削除した。	
	2 冷凍機器及び空気調和機器の種類、構造及び用途についてよく知っていること。			2 整備用機械及び器工具の取扱いがよくなること。		
	3 整備用機械及び器工具の種類、構造及び使用方法についてよく知っていること。			3 冷凍機器の取り付け及び調整がよくなること。		用語の修正
	4 冷凍機器及び空気調和機器の設備工法についてよく知っていること。			4 空気調和機器の取り付け、配管及び調整がよくなること。		用語の修正
	5 冷凍機器及び空気調和機器の修理及び調整について知っていること。			5 測定器による測定ができること。		
	6 冷媒の種類及び性質について知っていること。			6 性能検査ができること。		
	7 制御理論について知っていること。			7 安全衛生作業がよくなること。		
	8 計測器の種類、構造及び使用方法についてよく知っていること。			8 冷媒配管がよくなること。		教科名「冷媒配管実習」及び教科の細目「管加工、配管、気密漏えい試験検査、断熱」に対応した細目を新たに設定した。なお、関係技能検定の試験の範囲の細目において「高度な〇ができる」ことに合わせてよくなることとした。 教科名「制御配線実習」及び教科の細目「配線工事、シーケンス配線、機器回路配線」に対応した細目を新たに設定した。
	9 測定法及び試験検査についてよく知っていること。			9 制御配線ができること。		
	10 関係法規について知っていること。					
	11 空調設備の設計及び製図について知っていること			教科名「設備製図」及び教科の細目「空調設備の設計及び製図」に対応する細目を新たに設定した。		
	12 冷凍サイクルについて知っていること。			教科名「冷凍空調法」及び教科の細目「冷凍サイクル、冷媒、空調計画、負荷計算」に対応する細目を新たに設定した。		

技能照査の細目（設備施工系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		設備施工系配管科				
学科			実技			
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由	
系 基 礎 学 科	1 機械工学について知っていること。	関係技能検定試験の範囲の細目において、この細目相当では「概略の知識を有する」となっていることから、知っていることに変更した。	系 基 礎 実 技	1 機器及び工具の取扱いがよくなること。	用語の修正	
	2 電気工学について知っていること。			2 配管及び機器類の取り付けができること。		
	3 生産工学について知っていること。			3 ガス溶接、アーク溶接及びろう付けができること。		
	4 建築設備及び機器についてよく知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。		
	5 ガス溶接及び電気溶接について知っていること。					
	6 建築構造についてよく知っていること。					
	7 環境工学について知っていること。					
	8 建築製図について知っていること。					
	9 仕様及び積算について知っていること。					
	10 安全衛生についてよく知っていること。					
専 攻 学 科	1 配管用機械及び器具の種類、構造及び使用法について知っていること。	「管工作」ではなく、一般に「管加工」であるので修正した。	専 攻 実 技	1 配管用機械及び器具の取扱いがよくなること。	「曲げ」という表現は限定的で加工の一部であることから、「加工」に修正した。	
	2 管工作加工及び接合の方法についてよく知っていること。			2 管の切断、接合及び曲げ加工がよくなること。		
	3 配管施工法及び機器類の取付け施工法についてよく知っていること。			3 ガス溶接、アーク溶接及びろう付けができること。		
	4 配管及び設備における機能試験の方法について知っていること。			4 施工図の作成がよくなること。		
	5 管の保温及び塗装の方法について知っていること。			5 配管図及び管工作図により材料取り、加工及び組立てができること。		
	6 配管材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。			6 安全衛生作業がよくなること。		
	7 水、蒸気及びガスの性質について知っていること。			7 配管の検査ができること。		教科名「検査実習」及び教科の細目「水圧検査、満水及び通水検査」に対応する細目を新たに設定した。
	8 配管図についてよく知っていること。					
	9 配管関係法規について知っていること。					
	10 給排水設備について知っていること。			教科名「給排水設備」及び教科の細目「給水装置、給水方式、使用水量、給水管の管径、ポンプ、給湯方式、排水管の管径、排水トラップと通気管、衛生器具、浄化槽」に対応する細目を新たに設定した。		
	11 空調設備について知っていること。			教科名「空調設備」及び教科の細目「暖房設備、各種暖房方式、放熱器、ボイラー、冷房設備、冷房方式、空調調和装置、空調調和装置用機器、冷凍機設備、冷凍機用付属機器、ヒートポンプ空調機」に対応する細目を新たに設定した。		

新 技能照査の基準の細目(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		設備施工系住宅設備機器科			
学科			実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎学科	1 機械工学について知っていること。	関係技能検定試験の範囲の細目において、この細目相当では「概略の知識を有する」となっていることから、知っていることに変更した。	系基礎実技	1 機器及び工具の取扱いがよくなること。	用語の修正
	2 電気工学について知っていること。			2 配管及び機器類の取り付けができること。	
	3 生産工学について知っていること。			3 ガス溶接、アーク溶接及びろう付けができること。	
	4 建築設備及び機器についてよく知っていること。			4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 ガス溶接及び電気溶接について知っていること。				
	6 建築構造についてよく知っていること。				
	7 環境工学について知っていること。				
	8 建築製図について知っていること。				
	9 仕様及び積算について知っていること。				
	10 安全衛生についてよく知っていること。				
専攻学科	1 住宅用設備及び機器について知っていること。	住宅用設備及び機器としていたが、住宅のトイレ、バス、キッチン等における機器(便器、バスタブ、蛇口、コンロ等)を総称して住宅設備と変更した。	専攻実技	1 住宅用設備機器及び空調和機器設備工事に使用する機械及び器工具の取扱いがよくなること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。
	2 住宅用設備機器及び空調和機器設備工事に使用する機械及び器工具の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。		2 住宅用設備機器及び空調和機器の分解、調整、組立て及び設備工事がよくなること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。た、施工においては設備機器の「分解」まで行うことはないため、分解、調整を除く組立てのみとして細目を設定した。しかし、維持管理に対しては、分解、調整等の作業は、機器メーカー製造販売等の専門業者が行うことがあっても設置業者が行うことは少ないことから、維持管理に対する細目としては削除することとした。
	3 住宅用設備機器及び空調和機器設備工事の施工法についてよく知っていること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。		3 住宅用設備機器及び空調和機器設備工事に伴う各種検査ができること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。
	4 住宅用設備機器及び空調和機器設備工事に使用する材料の種類、性質及び用途について知っていること。	「住宅用設備機器」及び「空調和機器設備(空調)」をまとめて住宅設備の範囲のため住宅設備とした。		4 安全衛生作業がよくなること。	
	5 空調和機器住宅設備の修理及び調整について知っていること。	「空調和機器(空調)」も住宅設備の一部であることから住宅設備と変更した。		5 住宅設備の施工ができること。	教科名「設備施工実習」及び教科の細目「各種住宅設備の据付け、配管工事、タイル施工、換気・排気筒工事、太陽熱給湯装置、ヒートポンプ給湯器、太陽光発電装置」に対応した細目を新たに設定した。
	6 冷媒の種類及び性質についてよく知っていること。			6 住宅設備の維持管理ができること。	教科名「整備実習」及び教科の細目「住宅設備の保守管理、故障診断及び修理」に対応した細目を新たに設定した。
	7 計測器の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。				
	8 測定法及び試験法についてよく知っていること。				
	9 関係法規について知っていること。				
	10 燃料について知っていること。	教科名「燃焼化学概論」に対応した細目を新たに設定した。			
	11 換気について知っていること。	教科名「換気概論」に対応した細目を新たに設定した。			
	12 住宅設備の設計及び製図の方法について知っていること。	教科名「設備製図」に合わせて設定した。			

技能照査の細目（設備管理・運転系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		設備管理・運転系ビル管理科			
		学科	実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎	1 生産工学についてよく知っていること。 2 制御理論についてよく知っていること。 3 熱収支及び熱管理について知っていること。 4 熱源設備の種類、構造及び機能についてよく知っていること。 5 安全衛生について知っていること。		系基礎	1 熱源設備及びこれらの付属装置の運転ができること。 2 熱源設備及びこれらの付属装置の定期点検及び調整作業ができること。 3 安全作業、衛生作業ができること。	
専攻	1 建物の構造、総合管理の方法について知っていること。 2 空調和の種類、構造及び方式について知っていること。 3 電気設備の種類、 構造 構成及び方法について知っていること。 4 給排水衛生設備の種類、 構造 構成及び方式について知っていること。 5 制御機器の種類及び回路についてよく知っていること。 6 設備図面の読み方について知っていること。 7 関係法規について知っていること。 8 消防設備について知っていること	構造を構成と語句の適正化を図り修正した。 構造を構成と語句の適正化を図り修正した。 2つの教科に存在していた消防設備関連の細目の一つにまとめて教科名「消防設備」を設定したため、この教科に対応する細目を新たに設定した。	専攻	1 建築物の総合管理ができること。 2 空調和設備の運転及び保守ができること。 3 冷凍機、冷温水機の運転及び保守ができること。 4 給排水設備の保守管理ができること。 5 衛生設備の保守管理ができること。 6 電気設備の点検及び記録ができること。 7 自動制御設備の点検及び保守ができること。	

技能照査の細目（設備管理・運転系）

※青字は修正。赤字は追加。

訓練科		設備管理・運転系ボイラー運転科			
学科			実技		
系・専	細目内容	修正等理由	系・専	細目内容	修正等理由
系基礎	1 生産工学についてよく知っていること。 2 制御理論についてよく知っていること。 3 熱収支及び熱管理について知っていること。 4 熱源設備の種類、構造及び機能についてよく知っていること。 5 安全衛生について知っていること。		系基礎	1 熱源設備及びこれらの付属装置の運転ができること。 2 熱源設備及びこれらの付属装置の定期点検及び調整作業ができること。 3 安全作業、衛生作業ができること。	
専攻	1 ボイラーの種類及び型式について知っていること。 2 付属設備及び付属品の構造について知っていること。 3 自動制御装置について知っていること。 4 燃料の種類について知っていること。 5 燃焼理論、燃焼方式及び燃焼装置について知っていること。 6 熱及び蒸気について知っていること。 7 給水及びボイラー水の処理についてよく知っていること。 8 ボイラー及び付属品の整備及び検査について知っていること。 9 金属材料の種類、性質及び用途について知っていること。 10 ボイラー関係法規について知っていること。		専攻	1 ボイラー の異常の発見及び対策ができること。 2 ボイラー水の処理ができること。 3 ボイラー及びボイラー付属装置の整備及び検査ができること。	目的語を追加してわかりやすい表現に修正した。

